

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(可搬型重大事故等対処設備保管場所アクセスルートについて)

【凡例】

	当社コメント		対象外
--	--------	--	-----

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲載 頁	掲載箇所 <備考>
1	H26.10.16 島根2	共通	【TQUX】 複数のアクセスルートが重なっている部分がある場合には、当該部分が、使用できない場合のアクセス性について考え方をまとめておくこと。(※アクセスルート説明時)	反映済 (追加記載あり)	補足説明 資料1	補P1	[有効性評価でのコメント] 補足説明資料1
2	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	外部火災が発生していない場合の防火帯のアクセスルートとしての使用可能性を含め、迂回ルートについて網羅的に検討すること。(大規模損壊時の課題)	今回回答		補P1	補足説明資料1
3	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	荒浜側高台保管場所について、超高圧送電線が垂れ下がってきた場合の対応方法について検討すること。	今回回答		補P1 P19 P29 P31	補足説明資料1 3. (4)1 4. (4)① 4. (4)① 表15
4	H26.11.13 島根2	共通	鉄塔の倒壊について、波及的に近傍の鉄塔が倒壊する、電線が断線し跳躍する等の二次的影響も含めて、保管場所にある機器やアクセスルートへの影響を評価し説明すること。	今回回答		補P1 P19 P29 P31	補足説明資料1 3. (4)1 4. (4)① 4. (4)① 表15
5	H26.11.13 島根2	共通	第二保管エリアにある資機材の種類、用途、目的、保管場所等を整理した上で、鉄塔倒壊による影響について説明すること。	今回回答		補P1 P19 P29 P31	補足説明資料1 3. (4)1 4. (4)① 4. (4)① 表15
6	H26.12.11 浜岡4	共通	徒歩移動について、鉄塔倒壊時には、これを潜るとしているが、どんな倒壊の形態を考えてもアクセス可能であることを説明すること。	対象外		—	当社は、鉄塔倒壊時に潜ることとしていないため。 <関連 補足説明資料1>
7	H26.12.11 浜岡4	個社	メインルートとサブルートがあるが、メインとサブを分ける考え方を説明すること。また、被害が発生しない場合のアクセスルートを考慮しているが、そもそも被害が発生しないように対策を講じる等、アクセス性の向上を図ること(海側のルートに頼りすぎており、全体としてルートが少ないことを懸念。運用上の工夫の余地もある。)	対象外		—	コメント自体は、浜岡固有。但し、メインルートとサブルートを分ける考え方を当社も採用しており、以下に記載している。 2. (1)、図1
8	H26.11.13 島根2	個社	1号機北側の防波壁外アクセスルートについて、防波壁のゲート通過の方法等を考慮し、そのルートの運用の詳細を説明すること(また評価への反映を行うこと)	対象外		—	島根固有 <関連 補足説明資料1>
9	H26.12.11 浜岡4	個社	西側、東側の可搬型設備の保管場所のそれぞれについて、アクセスルートを複数確保することを検討して説明すること。	対象外		—	保管場所それぞれについて、アクセスルートを複数確保しているため。 <関連 補足説明資料1>

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲載 頁	掲載箇所 <備考>
10	H26.12.11 浜岡4	個社	2棟ある緊急時対策所について、基準適合性評価における各々の位置づけを整理して説明すること。	別途回答		—	緊急時対策所で回答
11	H26.12.11 浜岡4	共通	自然現象の重畳による影響評価について説明すること。	反映済 H26.11.13	本文 2. (2) 添付資料 1	P9 P104	2. (2) 3) [重畳事象] 添付資料1
12	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	設計基準を超える自然現象(風など)が発生した場合にプラントを停止するとの考え方について、その判断基準や屋外アクセスの可能性の考え方を説明すること。	今回回答	本文 2. (2)	P6,P7	2. (2) 2) 表3 風、積雪、火山による降 灰
13	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	アクセスルートと防火帯が近い場合、外部火災発生時の人や車両の通行可能性について、定量的に説明すること。(温度条件等)	今回回答	添付資料 29	P8 P224	2. (2) 2) 表3 森林火災 添付資料29
14	H26.12.11 浜岡4	共通	降水の影響について、排水溝が閉塞するような事態を想定しても、敷地内の排水が円滑に行われ滞留箇所が生じないことを説明すること。	今回回答	添付資料 30	P8 P225	2. (2) 2) 表3 降水 添付資料30
15	H26.11.18 女川3	共通	敷地内の溢水影響については局所的な滞留も考慮の上アクセスルートへの影響の有無や、滞留水の排水の所要時間も含め説明すること。	今回回答		P225	添付資料30
16	H26.11.13 島根2	共通	可搬型設備における小動物対策の内容を具体的に説明すること。	今回回答	添付資料 31	P8 P234	2. (2) 2) 表3 生物 添付資料31
17	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	地震における被害想定については、(中越沖地震における被害の程度にとどまることなく、)中越沖地震の経験を踏まえた上で、適切な被害想定を検討すること。	今回回答	添付資料 2	P11 P18 P28 P121	2. (4) 3. (3) 4. (3) 添付資料2
18	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	アクセスルートの設定については、中越沖地震の被害状況等を考慮し、(実際に被害の大きかった場所を避けるなど)適切なルート設定を行っていることを説明すること。	今回回答		P121	添付資料2
19	H26.11.18 女川3	個社	東北地方太平洋沖地震及びその余震の被害を踏まえ、これらの地震の被害の程度にとどまらず、適切な想定被害を検討すること。また、これらの地震の被害状況を踏まえたアクセスルートの設定や震災対策について説明すること。	対象外		—	女川固有 <添付資料2>
20	H26.12.11 浜岡4	個社	駿河湾の地震時のトラブル等について、被害想定やアクセスルート(屋外、屋内)、保管場所等の選定に際して考慮されていることを説明すること(取水口の地盤沈下等)。	対象外		—	浜岡固有 <添付資料2>
21	H26.12.11 浜岡4	共通	地震・津波発生時の影響評価について、複数ある基準地震動の適用範囲とその根拠を説明すること。	別途回答		—	耐震設計の方針にて回 答

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲載 頁	掲載箇所 <備考>
22	H26.11.13 島根2	共通	可搬型設備について、常設重大事故対処設備に対する位置的分散がなされていることを説明すること。	反映済 H26.11.13	本文 3. (1)	P13	3. (1)
23	H26.12.11 浜岡4	共通	可搬型重大事故等対処設備と常設重大事故等対処設備との隔離について説明すること。	反映済 H26.11.13		P13	3. (1)
24	H26.11.13 島根2	個社	保管場所の設定の基本的な考え方、戦略を整理して示すこと。特に原子炉施設の近傍かつ低地にある第4保管エリアの位置づけを示すこと。	反映済 H26.11.13	本文 3. (1)	P13	3. (1) [特に・・・以降の記載は島根固有]
25	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	2NあるいはN要求設備を明確にした上で、保管場所の考え方を説明すること。	今回回答	本文 3. (2)	P14 ～ P17	3. (2)
26	H26.11.13 島根2	共通	可搬型設備の設置台数(セット数、バックアップの有無)の考え方を整理して説明すること。また、保守点検時のバックアップの確保の考え方を示すこと。	今回回答		P14 ～ P17	3. (2) 3. (2) 表5-1
27	H26.11.13 島根2	共通	対策の全体像を把握するとの観点から、電力自主で設置する多様性拡張設備の台数や保管場所等についても、あわせて説明すること。	今回回答		P14 ～ P17	3. (2) 表5-1 3. (2) 表5-2 3. (2) 表6
28	H26.11.13 島根2	共通	主要な可搬型設備のみならず、その他の可搬型設備についても網羅的に説明すること。	今回回答		P14 ～ P17	3. (2) 表5-1 3. (2) 表5-2 3. (2) 表6
29	H26.11.18 女川3	共通	各保管エリアにおける主要可搬型設備の詳細なリストを提示すること。	今回回答		P14 ～ P17	3. (2) 表5-1 3. (2) 表5-2 3. (2) 表6
30	H26.11.18 女川3	個社	地震時に機能を期待しないとされている第4保管エリアにブルドーザーやバックホウを保管する理由について説明すること。	対象外		-	女川固有 <関連 3. (2) 表6>
31	H26.11.13 島根2 柏崎刈羽6/7	共通	可搬型設備について、接続口と取水地点について示すこと。 なお、可搬型設備接続箇所については、詳細な仕様を説明すること。	今回回答	添付資料 3	P126 ～ P135	添付資料3 添付資料4
32	H26.11.13 島根2	共通	大型航空機落下による大規模損壊等を想定した場合の可搬型設備接続箇所の位置的分散について説明すること。(大規模損壊での課題)	今回回答		P126 ～ P131	添付資料3
33	H26.11.18 女川3	共通	原子炉建屋周辺のアクセスルート設定については、原子炉建屋へ可搬型設備等の接続口を複数配置している考え方も踏まえ、多様なルート配置となるよう検討すること。	対象外		-	これまでの説明において、コメント内容を踏まえたアクセスルートの設定となっているため。 <関連 添付資料3>

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲 載 頁	掲載箇所 <備考>
34	H26.12.11 浜岡4	個社	接続口への接続作業をはじめとした現場作業については、現地調査にて確認した上で、改めて議論したい。	対象外		—	浜岡固有 < 関連 添付資料3 >
35	H26.11.13 島根2	共通	海水取水場所と取水ルート確保について、詳細に説明すること。	今回回答	添付資料 4	P132 ～ P135	添付資料4
36	H26.11.18 女川3	共通	SA事故時において貯水用として使用することが可能なタンクを網羅的に抽出すること。	今回回答		P132 ～ P135	添付資料4
37	H26.11.18 女川3	共通	アクセスルートについては、耐震性に限定せず敷地内で利用可能な水源の配置状況等も考慮し多様なルート設定を検討の上、整理して説明すること。	今回回答		P132 ～ P135	添付資料4
38	H26.11.18 女川3	共通	海水取水ポイントが近接しているため、より離れた位置に設置することが可能か検討すること。	今回回答		P132 ～ P135	添付資料4
39	H26.11.18 女川3	共通	屋外アクセスルートとして道路の幅員を3mとしている妥当性について詳細に説明すること。	反映済 H26.11.13	本文 4. (1) 4. (4)①	P27 P29	4. (1) 4. (4)①
40	H26.12.11 浜岡4	共通	アクセスルート近傍に重油タンクが2機並んでいるが、火災発生時における輻射強度の合算方法の妥当性を踏まえ、アクセスルート選定の妥当性について説明すること。	対象外		—	当社では、同様なレイアウトなし。 < 関連 4. (4)② 2) a. 図15-2 添付資料8 1. (3) >
41	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	変圧器火災について周辺に要員が1分以上滞在しないことを説明すること。	今回回答	本文 4. (4)② 添付資料 8	P33 P149	4. (4)② 2) a. 添付資料8 2. (2) 3)
42	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	消防車保管場所の耐震性について基準地震動に対して機能維持されることあるいは消火活動の考え方について説明すること。	今回回答	添付資料 9	P153 ～ P154	添付資料9 1. (2) 添付資料9 1. (3)
43	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	保管場所に置かれている設備について、可燃物として考慮されていない理由を説明すること。	今回回答	本文 4. (4)② 2)	P40	4. (4)② 2) b. 4. (4)② 2) 表16-2
44	H26.11.13 島根2	共通	OFケーブルの火災について、保管場所やアクセスルートに影響がないことを説明すること。	今回回答	添付資料 13	P165	添付資料13
45	H26.12.2 浜岡4	個社	SA機器を火災の影響を受けない場所に移動させる際、位置的分散等、移動先に問題がないことを示すこと。※SAのアクセスルートで説明	対象外		—	当社は保管場所を防火帯の内側としているため対象外

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲 載 頁	掲載箇所 <備考>
46	H26.11.13 島根2	共通	今回判明した屋外の水素ガストレーラや液体酸素貯槽などの可燃物/薬品貯蔵施設について、外部火災の評価に含め、再評価すること。(外部火災で考慮)	別途回答		—	外部火災で回答
47	H26.12.11 浜岡4	共通	アクセスルート上に硫酸タンク等の薬品タンクが存在することから、アクセス性、撤去作業等に影響がないことを具体的に説明すること。その際、防護服等の着用にかかる時間的コストと緊急時の時間的制約との関係を考慮し、対策の合理性についても検討すること。	反映済 H26.11.13	本文 4. (4)② 3)	P40	4. (4)② 3)
48	H26.11.13 島根2	共通	重機及び可搬型設備車両の浸水に対する耐性(どの程度の浸水水位まで走行でき、機能維持できるか)を示すこと。	今回回答	添付資料 10	P156	添付資料10
49	H26.12.11 浜岡4	個社	地震・津波発生時の敷地内浸水における時刻歴浸水深について、溢水源毎の影響を区別して説明すること。	対象外		—	当社敷地は遡上津波による影響を受けないこと、また、敷地内溢水も一時的ですぐに通行可能と評価しているため。 <関連 4. (4)② 4)>
50	H26.12.11 浜岡4	個社	地震・津波発生時の敷地内浸水について、ある程度の浸水深が長時間継続することのアクセスルートへの影響を説明すること。	対象外		—	当社敷地は遡上津波による影響を受けないこと、また、敷地内溢水も一時的ですぐに通行可能と評価しているため。 <関連 4. (4)② 4)>
51	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	建屋近辺の電源車へのアクセスについて、溢水評価において過渡的に水深が約2mになるとの説明であるが、アクセスルートとしての妥当性(定量的な評価結果)を詳細に説明すること。	今回回答	補足説明 資料2	補P2	補足説明資料2
52	H26.12.11 浜岡4	共通	地震による低耐震タンクの破損に伴う溢水の影響について、浸水深のみを考慮するのではなく、流路上にある人員や物品への影響も評価して説明すること。	今回回答		補P2	補足説明資料2
53	H26.11.18 女川3	個社	設計基準地震動での斜面の頑健性含めアクセスルートへの影響を示した上で、アクセスルートの妥当性を説明すること。	対象外		—	女川固有 <関連 4. (4)③④)>
54	H26.11.18 女川3	個社	斜面すべり安全率評価など、保守的に評価しているとしている評価については、定量的に保守性を示すこと。	対象外		—	女川固有 <関連 4. (4)③④)>
55	2014/11/13 島根2	個社	2号原子炉建屋南側の道路の幅、周辺斜面との距離を示すこと。	対象外		—	島根発電所のレイアウトに関するコメントのため
56	H26.11.13 柏崎刈羽6/7 島根2	共通	アクセスルート復旧などの時間の見積りに、ホイールローダ等の作業時間を含める場合は、実証データを保守的に見積もることを検討すること。	今回回答	添付資料 11	P157 ~ P160	添付資料11 5. (1) 添付資料11 5. (2)

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲載 頁	掲載箇所 <備考>
57	H26.12.11 浜岡4	共通	アクセスルート上に想定以上の段差ができた場合の復旧作業について、土嚢を並べるとのことだが、実地の検証結果を踏まえ、並べ方などを具体的に説明すること。	反映済 H26.11.13	添付資料 11, 12	P159	添付資料11 5. (2)
58	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	代替熱交換器ユニットなどの大型トレーラについては、15cmの段差を乗り越えられるか実証しておくこと。	今回回答		P161 ～ P164	添付資料12
59	H26.11.18 女川3	個社	H鋼材敷設によりどの程度アクセス道路の強度が向上するか説明すること。	対象外		—	女川固有(当社では使用していない) <関連 4. (4)⑤>
60	H26.11.13 島根2	個社	2号機の海側にある海水取水エリア、薬品タンク(鉄イオン溶解タンク)、段差発生想定箇所が、ほぼ同じ場所にあることから、地震発生後の海水取水について適切な対応手順を説明すること。	対象外		—	段差発生を想定していないため、また、同様なレイアウトはないため。 <関連 4. (4)⑤>
61	H26.11.18 女川3	共通	タンク溢水が崩壊斜面の土砂や撤去作業に影響ないか説明すること。	今回回答	添付資料 14	P167	添付資料14
62	H26.11.13 島根2	共通	(屋内アクセスルートについて)地震と溢水の影響が重畳した場合を考慮しても、必要な時間内にアクセスルートの仮復旧が可能であることを説明すること。	今回回答		P167	添付資料14 (屋外アクセスルートについてのコメントであることを確認)
63	H26.11.18 女川3	共通	アクセスルート1、2について、それぞれの距離を明示すること。	反映済 H26.11.13	本文 4. (6)	P56	4. (6) 3) 図28-1,2
64	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	タイベック・全面マスク・過酷な環境条件を想定した上で、緊急時対策所から作業場所までの徒歩による移動時間の妥当性について説明すること。	今回回答	補足説明 資料3	補P4 ～ 補P5	補足説明資料3
65	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	ハッチを開けるなど溢水区画を広げることによる他の区画への溢水影響を考慮すること。	今回回答	補足説明 資料4	補P6 ～ 補P9	補足説明資料4 1.
66	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	滞留水が他の区画へ流出した後にハッチを開けるとしているが、流出時間をアクセス時間として考慮すること。	今回回答		補P6 ～ 補P9	補足説明資料4 1.
67	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	現場作業員の安全確保の観点から、溢水時に扉を開ける際の安全確認方法や扉の開方法を含めた扉の運用について説明すること。	今回回答		補P6 ～ 補P9	補足説明資料4 2.
68	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	アクセス不要とする目的で(常時開運用にするなど)弁の運用を変更するものについて、どの系統の弁であるか具体的に示すこと。	今回回答		補P6 ～ 補P9	補足説明資料4 3.

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲 載 頁	掲載箇所 <備考>
69	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	ファンネルからの排水に期待するのであれば設計上排水性能が担保されていることを説明すること。	今回回答	本文 5. (4)	P83 ～ P88	5. (4) 3)
70	H26.12.11 浜岡4	共通	溢水時のアクセス性について、蒸気による影響を考慮して説明すること。	今回回答		P89	5. (4) 4)
71	H26.11.13 島根2	共通	内部溢水の影響評価について、水位のみでなく、水温や線量等の影響についても評価すること。	今回回答		P89	5. (4) 4) 5. (4) 5)
72	H26.11.18 女川3	共通	内部溢水影響については、水量だけでなく防食剤添加剤等の薬品による機器や人体への影響の有無も含め、アクセス性を説明すること。	今回回答		P90	5. (4) 6)
73	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	屋内アクセスルートについて、ポンベなどが転倒した場合の二次的影響への対策を説明すること。	今回回答	本文 5. (2) 添付資料 19 補足説明 資料5	P58	5. (2)
74	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	一般的な転倒防止対策について、複数の設備が転倒した場合も含め、あらゆる転倒パターンを想定した上で、個別具体的に説明すること。	今回回答		P58 P192 P193 補P10 ～	5. (2) 添付資料19 補足説明資料5
75	H26.12.11 浜岡4	共通	地震随伴火災の影響について、アクセスルート近傍の機器等(隣接区画の開口部等を通じた影響を含む。)の火災に伴うばい煙等の影響を考慮して説明すること。	今回回答	本文 5. (3)	P81	5. (3)
76	H26.11.13 島根2	共通	現場確認後、一端防護具配備箇所まで戻る時間も考慮した作業時間の評価を行うこと。	今回回答	本文 5. (4)	P91	5. (4) 【内部溢水に対する対応】
77	H26.11.13 島根2	共通	夜間や津波警報発生時のアクセスルートの妥当性等について説明すること。(技術的能力で説明)	今回回答	本文 6. (1)1) 添付資料 20	P92 P194 P195 P12	6. (1) 1) 添付資料20 2. (5)
78	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	有効性評価上の想定時間が短い場合と長い場合に分けて、想定するアクセスルート上の障害(設備の転倒や内部溢水など)を整理し、作業の成立性について説明すること。	今回回答	本文 6. (2)3)	P95 ～ P96	6. (2) 3) 表23
79	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	アクセスルート復旧の要員を1名としていることについて、作業の安全管理等を適切に検討した上でアクセスルート復旧要員数を説明すること。	今回回答	本文 6. (2)3)	P101	6. (2) 3) 表25
80	H26.11.18 女川3	共通	複数の損壊への対応等の場合の追加人員の要否や役割分担について説明すること。	今回回答		P101	6. (2) 3) 表25

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲載 頁	掲載箇所 <備考>
81	H26.12.11 浜岡4	共通	地震等の共通要因により、アクセスルート上に複数の被害が発生する可能性も考えられることから、アクセスルート、危険物をはじめとしたリスク要因、保管場所等を網羅的に記載した図面に基づき、多角的にアクセスルートの妥当性を説明すること(個別リスクの評価の積み上げでは不十分)。	反映済 H26.11.13	添付資料 23	P207	添付資料23
82	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	保管場所・アクセスルートの点検周期の考え方を示すこと。	今回回答	添付資料 25	P209	添付資料25
83	H26.11.13 島根2	共通	降雨の影響評価について、排水路の性能維持に係る運用管理を説明すること。	今回回答		P209	添付資料25
84	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	参集要員に対する情報提供の方針について説明すること。(別途説明)	今回回答		P210	添付資料26 1.
85	H26.11.13 島根2 柏崎刈羽6/7	共通	緊急時の交代要員の参集ルートの健全性について説明すること。	今回回答	添付資料 26	P211 ～ P212	添付資料26 3.
86	H26.11.18 女川3	共通	発電所外からの参集要員のアクセスルートおよびアクセス可能性についても説明すること。	今回回答		P211 ～ P212	添付資料26 3.
87	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	人の流れと逆方向に参集要員がアクセスしなければならないことも想定して、参集要員のアクセスの考え方を説明すること。(別途説明)	今回回答		P213	添付資料26 3.
88	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	共通	公道から発電所構内までのアクセスルートを示すこと。	今回回答		P213	添付資料26 4.
89	H26.10.16 柏崎刈羽6/7	個社	【TB】 必要の要員評価における必要要員及び参集要員の表現を見直し、参集要員が事象発生時10時間以内に確実に参集できることを説明すること。	今回回答		P214 ～ P217	添付資料26 5.
89	H26.11.13 柏崎刈羽6/7	個社	地震発生時に、民間の方々には体育館経由で高台に移動することになっているとのことだが、体育館における緊急時の設備の設置など、特別な対策は考慮されているか説明すること。	今回回答		P216	添付資料26 5.
90	H26.12.11 浜岡4	個社	地震・津波発生時の影響評価における基準津波等による評価と御前崎市防災マップでの評価について、それらの位置づけと相違に対する考察を説明すること。	対象外		—	浜岡固有のコメント <関連 7.>
92	H26.11.13 島根2	共通	電源ケーブルの敷設について、作業時間短縮の観点から、あらかじめケーブルや制御盤を敷設、配置することも(電力自主対策として)検討すること。	今回回答	補足説明 資料6	補P18	補足説明資料6

No.	審査会合日 審査プラント	分類	指摘事項	回答状況	回答 説明	掲載 頁	掲載箇所 <備考>
93	H26.12.11 浜岡4	個社	1, 2号炉の廃止措置作業の概略計画を示した上で、アクセスルートへの影響について説明すること。(特にサブルートへの影響が懸念される。)	対象外		—	柏崎刈羽で廃炉プラントがないため。
94	H26.12.11 浜岡4	個社	森林火災による可搬式設備への熱影響対策について、散水設備の設置等の設計方針を具体的に説明すること。	対象外		—	散水設備を設置しない運用でも可搬型設備への熱影響対策を講じることが可能なため。
95	H26.12.11 浜岡4	個社	屋外アクセスルートに関連して、消火活動時の消防車の配備の考え方について、第6条外部火災の設計方針を踏まえ、説明すること。	対象外		—	消防車は、防火帯内側に配備しているため。
96	H26.11.18 女川3	個社	可搬型大容量送水ポンプの設置作業と原子炉補機代替冷却系の準備や屋外と屋内作業を同時並行にて準備しない理由について説明すること。またその準備について、天候やトラブルを考慮した上で制限時間内に作業が可能か検討すること。	対象外		—	女川個別